

第03-01号
平成20年7月18日

在カンボジア日本国大使 篠原勝弘殿

社団法人シャンティ国際ボランティア会
カンボジア事務所長 磯部正広 印

日本NGO連携無償資金協力

事業完了報告書

平成18年11月30日付日本NGO連携無償資金協力贈与契約に基づく「コンポントム州パン・ニユム小学校及びトレン小学校建設計画」が、平成19年11月29日をもって完了いたしましたので、関係書類を添え、下記のとおり報告いたします。

記

1. 事業の実施期間： 平成18年11月30日 ~ 平成19年11月29日
2. 事業の実施成果（要約）：
 1. 「期待する成果とその達成度」：ほぼ達成された
 - 1) 新校舎建設によって教室環境の改善、収容能力の拡大が図られた。
 - 2) トイレ、井戸の設置によって衛生状況の改善が図られた。
 - 3) 住民参加型建設工事、維持管理講習会によって維持管理意識が高まった。
 2. 「プロジェクトの自己評価」
 - 2-1. 効率性：高い
 - 1) 投入及び各成果はほぼ予定通りの時期に達成された。
 - 2) 校舎、備品、トイレ、井戸とも十分活用されている。
 - 2-2. インパクト：正のインパクトが強い
 - 1) トレン小学校においては退学率が減少した。
 - 2) パンニユム小学校においては同一クラスタ内において、小学校の新設、増設があったために、生徒数が減少し、インパクトは不明。
 - 3) 本事業、総合的教育環境改善事業はコンポントム州教育局よりよいモデルとして高い評価を受けている。
 - 2-3. 計画の妥当性：非常に高い
 - 1) カンボジア政府教育省の2010年までに小学校で15,000教室の増設が必要とのニーズに合致している。

2)カンボジア政府教育省の基本方針であるチャイルド・フレンドリー・スクールの教育環境改善の方針に合致している。

2 - 4 . 自立発展性：高い

1)主体的に校舎、備品、トイレ、井戸を維持管理する意識が学校、学校支援委員会に育っており、修理には学校予算(PB)を使うことも可能。

2)学校側と協働で策定したマスタープランに沿って、学校側が自主的に学校環境の整備を継続して進めている。

3 . 「今後の方針」：

1)本事業の目標はほぼ達成できたので、支援した校舎、トイレ、井戸などの維持管理はカウンターパートに移行するが、弊会の方針として、建設完了後2年間は支援したものが目的通り利用されているか、きちんと維持管理されているかをモニタリングする予定。

2)教育省によると校舎建設のニーズは依然として高く、本事業の妥当性は非常に高いと言えるので、引き続き実施してゆきたい。

3 . 日本NGO支援無償資金精算額： US\$ 8 2 , 5 7 0
(契約額(供与限度額)と同額)

4 . 会計報告(事業資金収支表、資金使用明細書、支払証拠書写し)：

別紙のとおり

5 . 外部監査報告書提出予定日：平成19年12月17日

【添付書類】

会計報告関係

事業資金収支表 (様式4 - a)

資金使用明細書 (様式3 - a)

経費支払証明(証拠書台紙)(様式3 - b)

銀行口座残高証明(または通帳写し)

事業の成果(詳細報告書)

事業内容説明写真

「コンポントム州パン・ニユム小学校及びトレーン小学校建設計画」事業完了報告書

添付書類 事業の成果

1. 「期待する成果とその達成度」：ほぼ達成された

1) 新校舎建設によって教室環境の改善、収容能力の拡大が図られた。

パンニユム小学校：

事業実施前はコンクリート校舎(4教室)と草葺仮設校舎しかなかったが、実施後はコンクリート校舎2棟(9教室)となり、収容能力の拡大と共に、教室環境が大幅に改善された。

トレーン小学校：

事業実施前はコンクリート校舎(4教室)と民家の床下教室しかなかったが、実施後はコンクリート校舎2棟(9教室)となり、収容能力の拡大と共に、教室環境が大幅に改善された。

2) トイレ、井戸の設置によって衛生状況の改善が図られた。

パンニユム小学校：

事業実施前はトイレ(兼倉庫)が2屋、枯れた井戸が1つあったが、実施後は新しいトイレ(4室)とポンプ式井戸1式が設置された。

トレーン小学校：

事業実施前はトイレが1室、蓋のない浅井戸が1つあったが、実施後は新しいトイレ(4室)とポンプ式井戸1式が設置された。

3) 住民参加型建設工事、維持管理講習会によって維持管理意識が高まった。

パンニユム小学校：

建設地基礎部分への盛り土の運搬は学校支援委員会が担当し、土盛り作業は生徒、先生が参加して行われた。トイレ、井戸の設置の後、維持管理講習会を行い先生、生徒に維持管理意識が高まった。

トレーン小学校：

建設地基礎部分への盛り土の運搬は学校支援委員会が担当し、土盛り作業は生徒、先生が参加して行われた。トイレ、井戸の設置の後、維持管理講習会を行い先生、生徒に維持管理意識が高まった。

2. 「プロジェクトの自己評価」

2 - 1. 効率性：高い

1) 投入及び各成果はほぼ予定通りの時期に達成された。

パンニユム小学校：

建設工事は12月1日に開始され、4月5日につくえ・椅子などの備品、トイレ、井戸の設置が完了。スケジュール通り4ヶ月で全工程が完了。工事、備品などの支払いもスケジュール通り、予算通りに行われた。

ただ、カンボジア正月休みがあったために、井戸、トイレワークショップは5月18日となった。また、工事中に職人が踏み割った屋根瓦(2枚)の交換が、職人の都合がつかず

年明けの2008年1月4日と遅くなった。

トレン小学校：

建設工事は12月6日に開始され、4月5日につくえ・椅子などの備品、トイレ、井戸の設置が完了。スケジュール通り4ヶ月で全工程が完了。工事、備品などの支払いもスケジュール通り、予算通りに行われた。

ただ、カンボジア正月休みがあったために、井戸、トイレワークショップは5月18日となった。また、トイレの近いところにてきた亀裂の修繕工事は11月21日に完了した。

2) 校舎、備品、トイレ、井戸とも十分活用されている。

バンニウム小学校：

工事完了後の4月23日より新校舎の使用が開始された。また、5月18日のトイレ、井戸ワークショップの時に掃除道具、スペアパーツ、修理道具を寄贈。その後、スタッフが1ヶ月に1回、学校を訪問して校舎、トイレ、井戸の利用状況をモニタリングしたが、清潔に維持され、利用されていた。

トレン小学校：

工事完了後の4月23日より新校舎の使用が開始された。また、5月18日のトイレ、井戸ワークショップの時に掃除道具、スペアパーツ、修理道具を寄贈。その後、スタッフが1ヶ月に1回、学校を訪問して校舎、トイレ、井戸の利用状況をモニタリングしたが、清潔に維持され、利用されていた。

2 - 2 . インパクト：正のインパクトが強い

1) トレン小学校においては退学率が減少した。

事業実施前の就学児童数は842名(就学前児童163名、小学生679名)であったが、実施後の2007年 2008年度の就学児童数は567名(就学前児童95名、小学生472名)に減少。就学前クラス、1年生への入学者は減っているが、5、6年生の数は増えており、退学率が減少した。

2) バンニウム小学校においては同一クラス内において、小学校の新設、増設があったために、就学児童数が減少し、インパクトは不明。

事業実施前の就学児童数は611名(小学生544名、中学生67名)であったが、実施後の2007年 2008年度の就学児童数は380名(小学生306名、中学生74名)に減少。また各学年の児童数から推測すると退学率が減少していると予想できる。

3) 本事業、総合的教育環境改善事業はコンポントム州教育局よりよいモデルとして高い評価を受けている。

本事業を通して州教育局はじめコンポントム州教育局は総合的な教育環境の改善が非常に重要であるという認識を持つようになり、本事業は良いモデルとして高い評価を受けている。

2 - 3 . 計画の妥当性：非常に高い

1) カンボジア政府教育省の2010年までに小学校で15,000教室の増設が必要とのニーズに合致している。

2007年1月の教育省の発表によると、2010年までに小学校で15,000教室の増設が必要で

ある。

2) カンボジア政府教育省の基本方針であるチャイルド・フレンドリー・スクールの教育環境改善の方針に合致している。

UNICEF のイニシアチブで 2000 年から試験的に実施されてきたチャイルド・フレンドリー・スクールの取り組みであるが、2008 年より正式に教育省の基本方針となり、今後全国の小中学校に普及させてゆく計画である。ソフト、ハードの両面で子どもたちにフレンドリーな学校づくりを目標としており、本事業の目的とする総合的な教育環境改善はこの目標と合致する。

2 - 4 . 自立発展性：高い

1) 主体的に校舎、備品、トイレ、井戸を維持管理する意識が学校、学校支援委員会に育っており、修理には学校予算 (P B) を使うことも可能。

パンニユム小学校、トレーン小学校共に建設地基礎部分への土盛り工事への参加やトイレ、井戸の維持管理研修会によって、校舎・トイレ・井戸の維持管理意識は育っており、工事完了後の 6 ヶ月に亘る毎月 1 回のモニタリングを見るとしっかりと維持管理されている。

また、軽微な修繕には学校予算を使うことも許されており、予算的にも自立発展性は高いといえるであろう。

2) 学校側と協働で策定したマスタープランに沿って、学校側が自主的に学校環境の整備を継続して進めてゆく。

パンニユム小学校、トレーン小学校共に本事業実施中に学校側と話し合いながら運動場や花壇など学校全体の環境を考えた将来のプランを作成し、本事業が終了しても引き続き学校側が自主的にその整備を進めてゆくことになっている。

3 . 「今後の方針」：

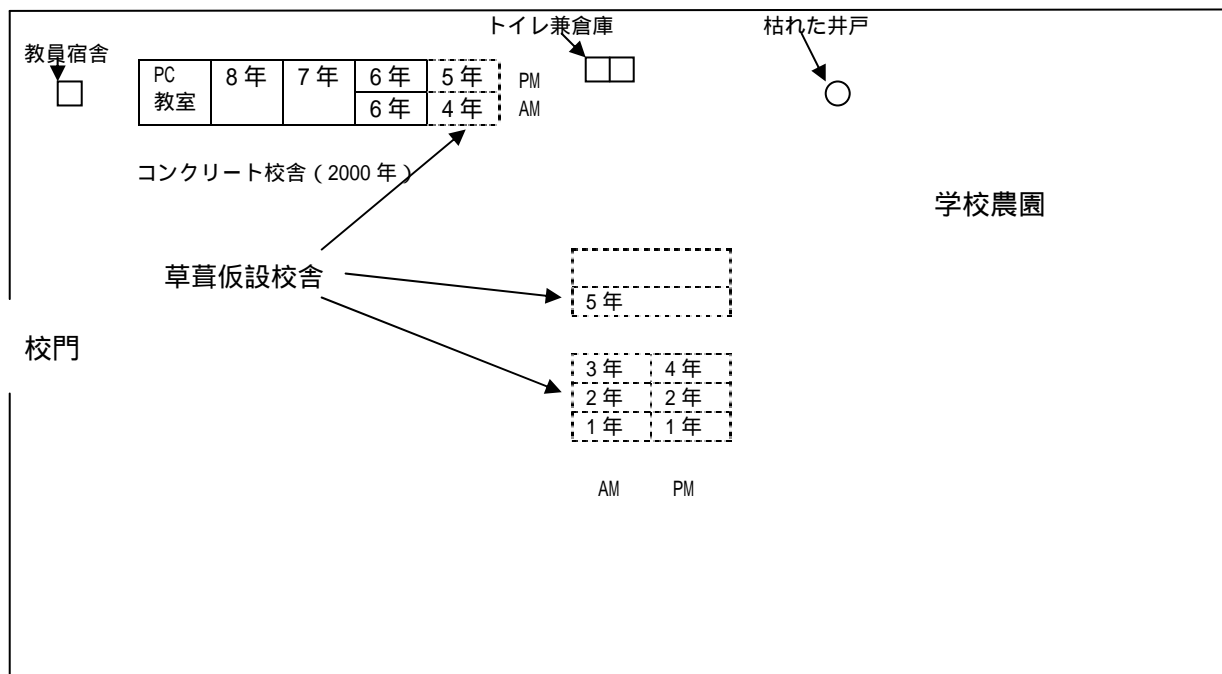
1) 本事業の目標はほぼ達成できたので、支援した校舎、トイレ、井戸などの維持管理はカウンターパートに移行するが、弊会の方針として、建設完了後 2 年間は支援したものが目的通り利用されているか、きちんと維持管理されているかをモニタリングする予定。

2) 教育省によると校舎建設のニーズは依然として高く、本事業の妥当性は非常に高いと言えるので、引き続き実施してゆきたい。

添付書類 -1 パンニユム小学校の事業実施前と実施後の状況

1. 2005-2006 年度（事業実施前の状況）

2004 年 6 月、突風で木造校舎が倒壊したため、地域住民が草葺の仮設校舎 2 棟とコンクリートの校舎の壁を利用した草葺簡易教室を設置。2005 年 10 月からの新学期ではコンクリート校舎は 4 教室あるが、1 教室はコンピューター教室、2 教室は中等部、1 教室を 6 年生の教室として利用。小学校 1 年から 5 年までの 9 クラスは雨漏りのする草葺仮設校舎を利用。

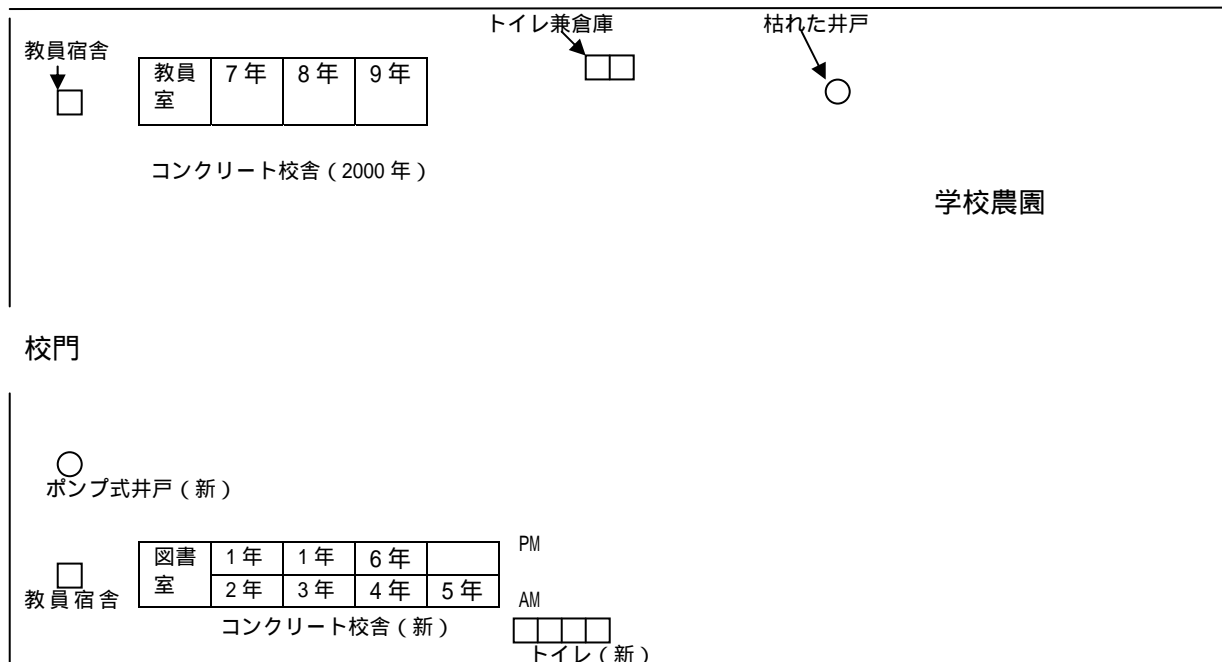


学年	学級数	教員		児童		1 教室あたりの児童数
		女性	合計	女子	合計	
小学校						
1 年	2			80	150	75
2 年	2			56	92	46
3 年	1			31	61	61
4 年	2			45	88	44
5 年	2			41	81	41
6 年	2			36	72	36
合計	11	2	6	289	544	
中学校						
7 年	1	0	1	19	38	38
8 年	1	0	1	14	29	29
9 年	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	2	33	67	
総合計	13	2	8	322	611	

2. 2007-2008 年度（事業実施後の状況）

2007 年 4 月 5 日、新校舎が完成。旧コンクリート校舎（4 教室）と合わせて全部で 9 教室となり、収容能力と教室環境は大幅に改善された。2007 年 10 月からの新学期では旧コンクリート校舎は教員室、中等部（3 教室）として、新校舎は図書室と小学校として利用。

尚、昨年近隣の村において小学校の新設が 1 校、教室の増設が 1 校あったので、本校に就学する小学生の数が新校舎建設前の 544 名から 306 名に減少。

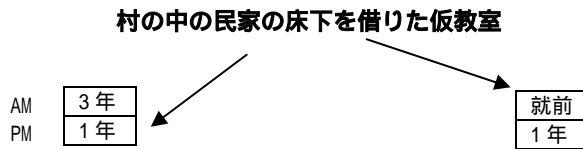
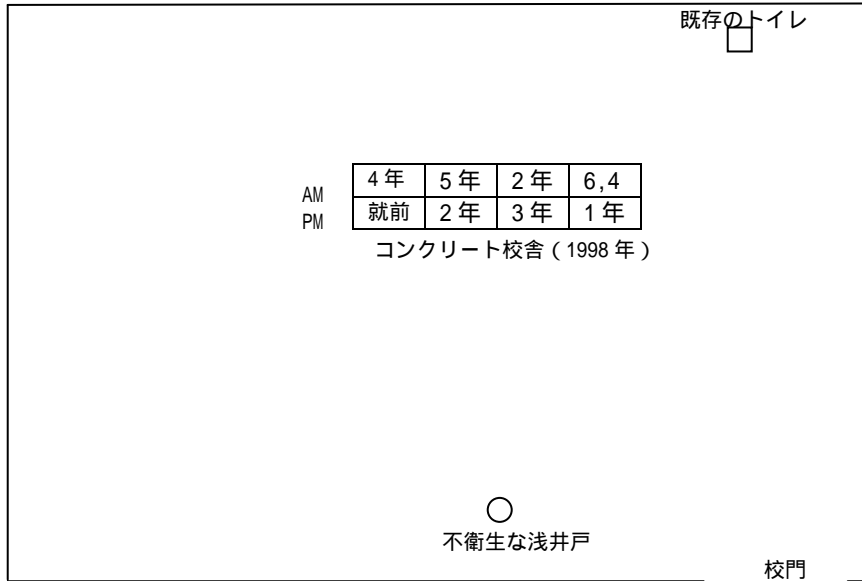


学年	学級数	教員		児童		1 教室あたりの児童数
		女性	合計	女子	合計	
小学校						
1 年	2	0	1	39	84	42
2 年	1	1	1	15	31	31
3 年	1	0	1	25	37	37
4 年	1	0	1	29	47	47
5 年	1	0	1	30	52	52
6 年	1	0	1	39	55	55
合計	7	1	6	177	306	
中学校						
7 年	1			28	37	37
8 年	1			3	10	10
9 年	1			11	27	27
合計	3	1	3	42	74	
総合計	10	2	9	219	380	

添付書類 -2 トレーン小学校の事業実施前と実施後の状況

1. 2005-2006 年度（事業実施前の状況）

2004年4月、突風で簡易校舎が倒壊した。2005年10月からの新学期は13学級（就学前2学級、小学校11学級）。既存のコンクリート校舎は4教室しかないので、民家の床下を借りた仮教室2箇所（3年1、1年1）で4学級を運営している。また、児童数の少ない6年生は4年生との合併事業を実施している。



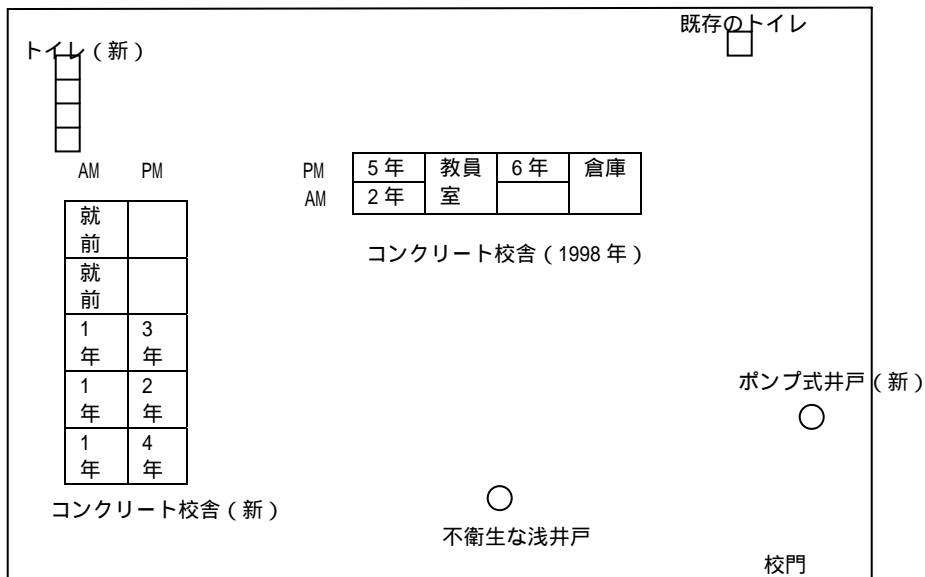
学年	学級数	教員		児童		1教室あたりの児童数
		女性	合計	女子	合計	
就学前	2	2	2	76	163	82
小学校						
1年	3	1	1	73	145	48
2年	2	1	1	36	106	53
3年	2	1	1	68	90	45
4年	2	0	1	78	105	53
5年	1	0	1	25	48	48
6年	1	1	1	17	22	22
合計	13	4	6	373	679	
総合計	15	6	8	449	842	

* 校長も教鞭をとっているので実質の教師数は合計9名。

2. 2007-2008 年度（事業実施後の状況）

2007 年 4 月 5 日、新校舎が完成。既存のコンクリート校舎（4 教室）とあわせると教室数は 9 教室と倍増し、民家の床下教室の必要がなくなり、教室環境は大幅に改善された。2007 年 10 月からの新学期は 11 学級（就学前 2 学級、小学校 9 学級）。

尚、本校の就学児童数は新校舎建設前の 842 名から 567 名に減少したが、6 年生までの進級率は向上している。



学年	学級数	教員		児童		1 教室あたりの児童数
		女性	合計	女子	合計	
就学前	2	2	2	59	95	48
小学校						
1 年	3	0	1	74	136	45
2 年	2	1	1	43	90	45
3 年	1	1	1	39	88	88
4 年	1	1	1	26	55	55
5 年	1	0	1	39	57	57
6 年	1	0	1	26	46	46
合計	9	3	6	247	472	
総合計	11	5	8	306	567	

* 校長も教鞭をとっているので実質の教師数は合計 9 名。

「コンポントム州パン・ニユム小学校及びトレーン小学校建設計画」事業完了報告書
添付書類 事業内容説明写真
1) パンニユム小学校



完成した校舎（正面）と教師、生徒



業者による壊れた屋根瓦 2 枚の取替え



井戸に取り付けられた ODA プレート。校長、教頭、学校支援委員会委員長



トイレに取り付けられた ODA プレート

2) トレーン小学校



完成した校舎（正面）と教師、生徒



井戸に取り付けられた ODA プレート。学校支援委員会、教師



SVA スタッフによる教師、学校支援委員会メンバーへの井戸の修理研修



トイレに取り付けられた ODA プレート